

1 人中心のウォーカブルな空間づくりに向けた基本的な考え方（案）

○人中心のウォーカブルな空間づくりに向けて、「リンク=自動車・公共交通等の交通環境」を見直し、「プレイス=歩行者のための空間」づくりを推進していくことを基本的な考え方とします。

<p>前提条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新潟駅 駅直下交通広場の整備完了 ■新潟駅 新・万代広場の整備完了 ■中・長距離バスターミナルの整備完了 ■新潟駅西線などの都市計画道路の概成 ■万代島ルート線の概成 	<p>自動車交通と公共交通 を取り巻く環境が 大きく変化します</p>
---	---

リンク形成の基本的な考え方（自動車・公共交通等の交通環境）

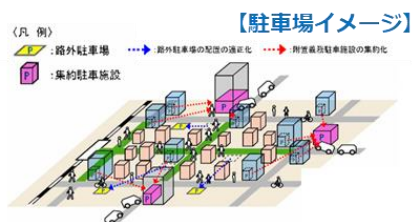
- 【「人中心」のまちに向けたリンク形成の方向性】
- 新潟駅・万代地区周辺の外郭を形成する道路ネットワークの構築（万代島ルート線等）
 - 公共交通や自転車、新たなモビリティへの対応
 - まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（出入口位置の誘導等）や、荷捌き等への対応

【将来のリンク形成のイメージ図】



【都心軸のリンク機能見直しの考え方】
万代島ルート線の概成や新潟駅連続立体交差事業に伴う幹線道路整備により外郭道路ネットワークが形成され、都心部の通過交通の抑制が期待される

⇒東大通・萬代橋通は、車中心の断面構成から、人と公共交通中心の空間再編に向けた契機となる



プレイス形成の基本的考え方（歩行者のための空間）

【現況】

- ・東大通や万代ガルベストーン通など、質の高い歩行者空間はあるが、十分に活用・連携されていない
- ・交通結節点や商業施設、優れた地域資源があるが、それらをつなぐ歩行者ネットワークの形成が未成熟。
- ・民地も含めたウォーカブルな都市空間の形成が未成熟。（道路と民地の一体的な空間の形成など）

【「人中心」のまちにするためのプレイス機能の確保の方向性】

- 新潟駅周辺及び万代地区周辺の2つの核と、それをつなぐモール（軸）の形成
 - ・新潟駅と万代地区の2つの“核”をつなぐ弁天ルートを“モール”とした賑わいの主軸を形成する。
 - ・東大通もリンク機能の見直しに合わせてプレイス機能を高め、ゆくゆくは弁天ルートとセットで性格の異なる2つのモールを形成する。
- 地域資源をつなぐ、ウォーカブルなまちなかの形成
 - ・信濃川や萬代橋、やすらぎ堤、万代テラスの水辺空間、弁天公園などの地域資源をつなぐ歩行者ネットワークでは、通行だけでなく、緑豊かで居心地がよい人中心の空間形成を目指す。

※花園ルートは、当面新潟駅から万代テラス、万代島方面へ快適に移動できる歩行者・自転車の移動ルートとして活用しながら、周辺の土地利用の変化に応じて、次の打ち手を検討する。

【将来のプレイス形成のイメージ図】

